農業

県下1位のさとうきび生産

温暖で地形が平坦な宮古島は、耕地面積が島全体の半分以上におよびます。その多くがさとうきび畑で宮古島のさとうきび生産量は沖縄県全体の約4割を占めます。

収穫も手刈りからハーベスタの利用が増えている。

平成26~27年期宮古島市 さとうきび生産量

収量面積	4,513ha
生産量	301,268t
生産額	6,844,771,000円
栽培農家数	5,129戸
1農家あたり収穫面積	88a
1農家あたり生産額	1,335,000円

資料：農政課
※砂糖年度は当年10月～翌年9月である。

収穫されたキビは製糖工場に運ばれ、分蜜糖（原料糖）となって全国に出荷される。

畜産

高値のつく宮古産子牛価格

昭和60年頃まで、畜産は豚の飼育が主でしたが、近年は、黒毛和牛の子牛を産ませ、出荷する『繁殖』が盛んです。毎月19日にはセリがおこなわれ、子牛価格は上昇を続けています。

生後6か月から1年未満の子牛（素牛）の出荷が8割以上を占めるが、島で生まれ、肥育された宮古牛ブランドも、近頃注目されている。

平成26年度宮古島市 家畜家禽の頭羽数

肉用牛	11,481頭
乳用牛	199頭
馬	44頭
豚	648頭
在来山羊	467頭
採卵鶏	34,566羽

資料：畜産課

平成26年期宮古島市 葉たばこ生産量

栽培農家数	128戸
収穫面積	522.0ha
収穫量	1,080.8t
平均価格/1kg	2,090円
生産額	2,258,406円

資料：農政課

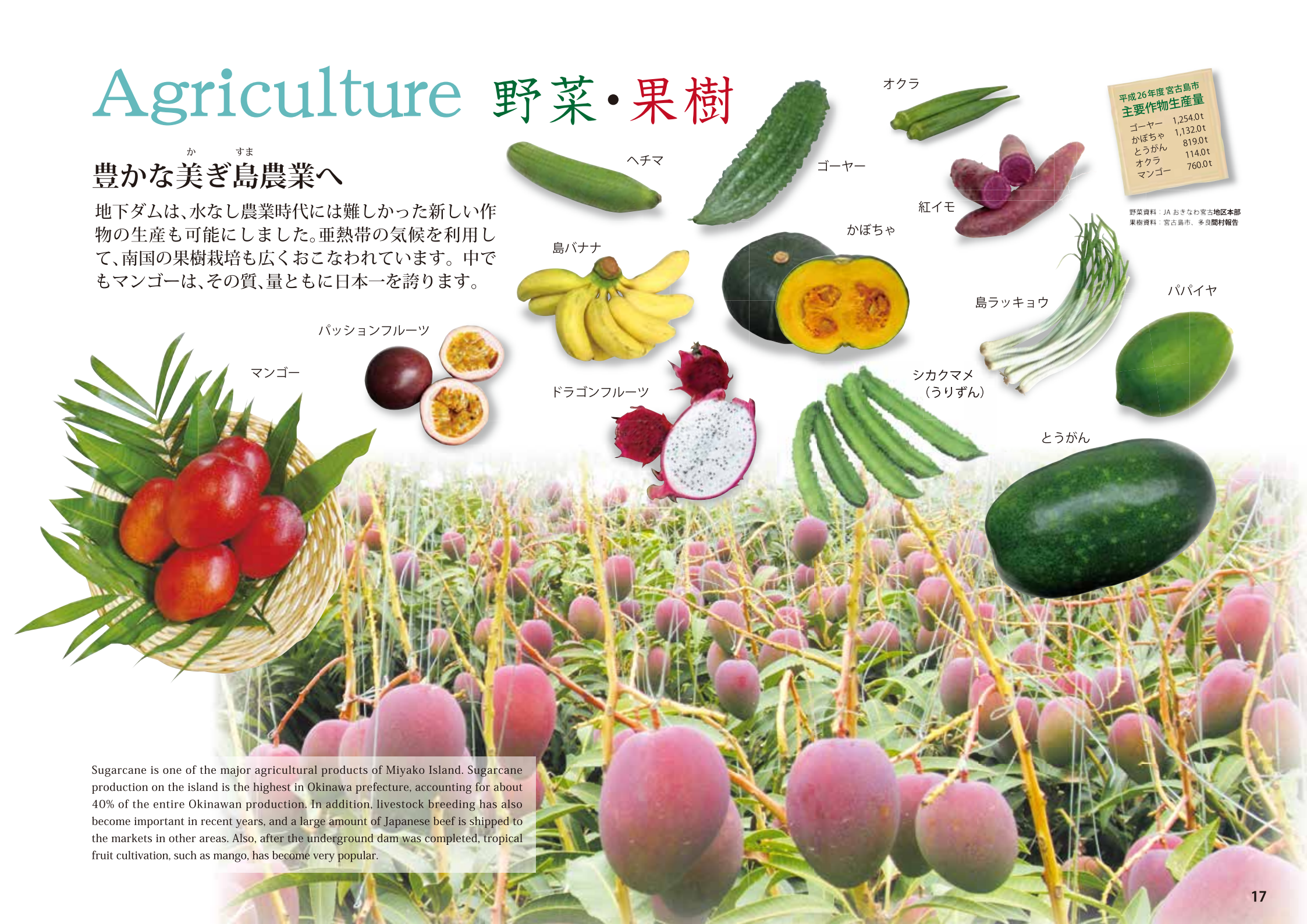
平成26年
肉用牛のセリ市状況（子牛）
成立頭数：5,326頭
販売金額：2,607,557,540円
1頭あたり平均価格：489,590円

葉たばこ

Agriculture 野菜・果樹

豊かな美ぎ島農業へ

地下ダムは、水なし農業時代には難しかった新しい作物の生産も可能にしました。亜熱帯の気候を利用して、南国の果樹栽培も広くおこなわれています。中でもマンゴーは、その質、量ともに日本一を誇ります。



平成26年度宮古島市 主要作物生産量

ゴーヤー	1,254.0t
かぼちゃ	1,132.0t
とうがん	819.0t
オクラ	114.0t
マンゴー	760.0t

野菜資料：JA おきなわ宮古地区本部
果樹資料：宮古島市、多良間村報告

Sugarcane is one of the major agricultural products of Miyako Island. Sugarcane production on the island is the highest in Okinawa prefecture, accounting for about 40% of the entire Okinawan production. In addition, livestock breeding has also become important in recent years, and a large amount of Japanese beef is shipped to the markets in other areas. Also, after the underground dam was completed, tropical fruit cultivation, such as mango, has become very popular.

漁業

サンゴの海の豊かな漁場

流通する県産カツオの８割は、宮古島近海で獲れたものです。その漁法は豪快な一本釣り。伊良部佐良浜の漁港には、一年を通して、その日に獲れたカツオが水揚げされ、新鮮なまま出荷されます。それを可能にしているのが、島周辺に設置された 10 数基のパヤオ（浮き漁礁）の存在。宮古島は、1982 年に、日本で初めてパヤオ漁を始めたパヤオ発祥の地でもあります。

パヤオは、漂流物の影にたくさんの小魚が寄る習性を利用したもの。カツオやマグロなど大型の回遊魚が餌を求めて集まり、豊かな漁場となる。

平成 25 年度
海面漁業の主要魚種別漁獲高

まぐろ類	294t
かつお類	347t
まち類	18t
たい類	11t
はた類	9t
たかさご類	89t
ぶだい類	19t
その他	100t

資料：宮古農林水産振興センター
「宮古の農林水産業（平成 27 年３月）」

沖縄の味としておなじみの県魚グルクン。その５割は、佐良浜のアギヤー漁師たちの水揚げです。アギヤーとは明治時代糸満海人によって生み出された伝統漁で、グルクンの性質を利用した追い込み漁の一種です。かつては沖縄各地で行われていましたが、今では佐良浜にのみ残されています。カツオの餌とりも、アギヤーの技が支えています。

カツオを１匹ずつ、疑似餌のついた竿で釣り上げる。
カツオが釣り針から離れ、空を舞う様子は勇壮そのものだ。

Miyako Island still has two popular types of fishing: traditional pole-and-line fishing, and the dive-and-chase fishing of Gurukun called "Agiya." The presence of more than 10 fishing banks around the island enables the island to produce rich fisheries ever since Miyako Island started bank fishing for the first time in Japan.

Fisheries

美ら海と太陽が育む海産物

ミネラルが豊富な海と、南国の力強い太陽を利用して、養殖業も盛んにおこなわれています。宮古島産のクルマエビやモズク、海ブドウは品質の高さに定評があり、全国から支持されています。

半年をかけて 20 センチほどに成長したクルマエビは、
生きたまま、おがくずに入れて発送される。
宮古島産のクルマエビは首都圏の市場でも人気が高い。

海ぶどうの養殖

国内で海ブドウが自生できるのは宮古島が北限。自然に近い環境で育てられた海ブドウは、栄養価も高く粒が大きいと、高い評価を得ている。

アーサの養殖

モズクの養殖

宮古島で育てられたモズクは、一般のものに比べぬめりが強く、健康食品としても注目されている。

平成 25 年度
海面養殖業の生産高

もずく類	1,465t
ヒトエグサ	2 t
クビレズタ	26t
クルマエビ	74t

資料：宮古農林水産振興センター
「宮古の農林水産業（平成 27 年 3 月）」

The mineral-rich sea and the strong sun of a tropical island also make it possible to carry out an active aquaculture industry. Miyakojima's prawns, Mozuku, and sea-grapes have good reputations for their high quality and have been enjoying support from all over the country.

観光

伸びゆく観光事業

美しいビーチやサンゴ礁の豊かな海、変化に富んだ景観という自然資源に恵まれた宮古島には、国内外から多くの観光客が訪れます。その数は年間 40 万人を超え、今後、外国クルーズ船の寄港増加で、さらなる急増も見込まれます。また、本土からの修学旅行先としても人気が高く、農家漁家民泊の受け入れもますます充実しています。

与那覇前浜

世界最大の口コミサイト、トリップアドバイザーによる「日本のベストビーチ トップ 10」では、3 年連続（2012～2015 年）で第 1 位に選ばれている与那覇前浜ビーチ。

東平安名崎

Many tourists from Japan and abroad visit Miyakojima to see the rich natural resources such as the wonderful ocean with beautiful beaches, coral reefs, and the variegated landscape. Farmer's and fishermen's guest houses are also popular because tourists can experience social exchange with the local people and their way of living.

池間大橋

来間大橋

伊良部大橋

下地島の通り池

池間大橋、来間大橋に次いで伊良部大橋が誕生し、大小６つの島（宮古島、池間島、来間島、伊良部島、下地島、大神島）からなる宮古島は、大神島をのぞき、３つの橋でひとつにつながりました。これにより交通の利便性が高まっただけでなく、それぞれの橋から臨む海の表情は、多くの観光客の心をとらえます。

Tourism

Miyakojima, which consists of six large and small islands, has finally been connected by Ikema Bridge, Kurima Bridge, and Irabu Bridge, which was newly completed in 2015. This not only has enhanced local transportation but has also given many tourists the chance to experience various aspects of the ocean from each of the bridges.

砂山

体験観光

宮古島市熱帯植物園

The experience craft village in the tropical botanical gardens offers compelling experiences such as Miyako Jofu dyeing, Shisaa craft, shellfish work, and folkcraft making. Here and there on the island, you can enjoy a variety of activities such as the sanshin, a traditional Okinawan instrument, local cuisine, fishing, and walking tours.

宮古島体験工芸村

熱帯植物園内の体験工芸村では、宮古上布やシーサー、貝細工、民具づくりなど、島の手仕事を体験することができます。

陶芸工房

チガヤ工房

郷土料理体験

貝細工工房

宮古上布工房

藍染工房

宮古馬乗馬体験

8 種いる日本在来馬のひとつ、宮古馬。一時は絶滅の危機にあったが、保存活動の結果、現在は 50 頭あまりが飼育されている。

万華鏡工房

木細工工房

Activities

多様化する観光目的に対応

マリンレジャーやスポーツが中心だった宮古島の観光事業も、観光客の増大につれ、その目的も多岐にわたるようになりました。ゴルフや釣り、さらには歴史や文化、島の暮らしそのものに触れる体験型の観光も多く求められています。従来の周遊型から、ゆっくりと滞在し、島の人々と交流する観光へという近年のニーズに対応するために、さまざまな試みが始まっています。

ダイビング

広大なサンゴ礁群、八重干瀬は、スクーバダイビングやシュノーケリングの人気スポット。春から夏にかけての大潮の低潮時には、サンゴの島が海上に現れる。

フィッシング

豊かな漁場に囲まれる宮古島は、多くの釣り人を魅了する。体験釣りから大物釣りまで、さまざまなメニューがそろう。

クロマグロ過去最高 367㌔

ゴルフ

海沿いには 18 ホールの本格的なゴルフコースが点在する。海風を浴びながらプレーできるリゾートゴルフは国内外から人気が高い。

宮古島海中公園

サンゴ礁や色とりどりの熱帯魚を、まるで海中散歩するように間近で体感できる海中公園。館内には貝細工の体験コーナーも。

やーがまくーがま

佐良浜の迷路のような路地を島人と歩き、民家を訪問する「やーがまくーがま」は、新しい形の観光として注目されている。

シーカヤック

宮古島まもる君

宮古各地に立つ「まもる君」は、宮古島の交通安全のシンボル。現在 19 基が設置されている。

As the number of tourists has increased, Miyako Island's tourism, which was once focused on marine leisure and sport, has come to have many different focuses. In recent years, various attempts have been made to respond to the activities that people prefer, such as longer term stays interacting with local people and multiple visits to the island.